



1 はじめに

だいぶ寒さが厳しくなって参りましたが、皆様いかにお過ごしでしょうか。最近のニュースでは、コロナウイルスの第3波が注目されてきておりますので、皆様も手洗いうがいを励行され、健康にご注意下さい。

さて、今回の「進学 Now !」では、あと50日あまりに迫った共通テストと受験に関する最新情報を、更に1年生2年生に迫ってきた、「文理選択」「コース選択」について、情報を提供して参ります。

ご不明の点や、ご相談などございましたら、遠慮無くお問い合わせ下さい。

2 「共通テスト」について

今年度、初めて「大学入学共通テスト」が実施されます。実施日にはコロナウイルスの影響に配慮した2つの日程が用意されましたが、本校は全員第1日程(1/16・1/17)で受験する予定です。最新のニュースでは、第2日程(1/30・1/31)を申請した受験生は800名弱であり、自己採点集計の対象外とする(河合塾)と発表されました。

本校生は、出願及び出願内容変更をスムーズに済ませ、いよいよ受験票の到着を待つばかりとなりました。(今後は試験科目等の変更は一切出来ません)

受験会場が白鷗大学から宇都宮大学に変更されたことは、すでにご連絡済みですが、会場の確定が未だ出来ておりません。(教育学部会場なのか工学部会場なのか決定していません)わかり次第、ホームページ等でご連絡いたします。

当日までの準備や当日の心構え等については、10月の学年部会で詳細にご連絡したとおりです。今一度ご確認をお願いします。

現在確定している、共通テストの出願者数は53万5,244人で、前年度より2万2,455人減少しました。現役高校生(卒業見込み者)の申請は、44万9,789人(前年度比2,446人減)、高等学校卒業生(いわゆる浪人生)などが8万5,455人(前年度比2万9人減)となり、昨年度に、次の共通テストを避けたいと考えた高校生が、「浪人しない」という選択をしたケースが多かったと考えられます。

しかし、「競争相手が減ったから楽だ」と考えるのはやや早すぎます。「共通テスト」の受験生の数が2万人程度減少(4%減)したところで、大きな変化とは言えませんし、大学側も受験生の減少は「想定内」です。

そして、今年度から「新入試」が始まりますので、「思考力・判断力・表現力」を計る、新たな傾向の問題が登場したり、推薦・総合(旧AO)にも学力試験が課されるなど、試験の方法は大きく変化しており、受験生が対応すべき準備はたくさんありますので、油断は禁物です。

ごく最近のコロナウイルス感染拡大のニュースも、今後の受験生対応に影響する可能性があります。

3 2年生の「コース選択」について

大きな行事が終わり、残すところ4ヶ月となりました。修学旅行については、状況を見ながら計画されることと思いますが、来年の進路指導に関わる課題としては、「コース選択」が大変重要な意味を持ってきます。

すでに、お子様を通じて第1回目の希望調査が行われたところですが、この選択は、3学年における受験校の選択に関する重要な選択になります。理型の場合、国公立コース・私立コースに関わらず授業は同一の内容で行われるため、受験大学選択に大きな影響はありませんが、文型の

場合、国公立コースと私立コースのコース選択が異なる場合、受ける授業自体が大きく異なって参ります。従って、選択できる受験大学も大幅に絞られてきます。それぞれのコース選択については、担任からも進路指導部からも十分な説明を実施しておりますが、ご不明な点がございましたら、最終決定前に、ご相談下さい。

コロナ禍の影響により、今年度はどのような受験傾向が現れるか予想できませんが、本校生の持つ実力を十分に発揮できれば、大部分の希望する進路は開けると信じております。いずれのコースを選んでも、精一杯の努力を続けて欲しいと願っております。

4 1年生の「文理選択」について

1年生につきましても、そろそろ「文理選択」を行う時期となって参りました。選択の基本は、大学で**学びたい分野、学びたい学問を定めていくこと**に他なりません。現代の社会は、情報化やグローバル化が進み、社会構造自体が昭和の高度経済成長期とは大きく異なっているため、保護者の皆様の時代とは、だいぶ様相が変わってきています。「とりあえず理型」という選択は、現代ではあまりお勧めできません。大学の持つ特徴を理解し、偏見にとらわれず選択していくことが大変重要です。

首都圏から離れると、最新の情報が手に入らない、などという時代は終わっています。また、ロボット化や情報化・グローバル(国際)化が進展し、AI(人工知能)やIT(情報技術)の発達により労働者の必要な分野も急速に変化しています。

思い込みではなく、しっかりとした情報収集と判断が求められてきております。お子様と時間を取って話し合ってください。そして、これからの社会に生きていく方法を十分にご検討いただきたいと思います。なお、2年生からの文理選択後は、卒業認定に必要な単位が定められているため、3年次に入れ替えることは出来ません。(文→理、理→文の変更は出来ません)従って、慎重に検討していただく必要があります。

選択の準備のため、現在1年生は「学部・学科研究」を進めており、進路選択に役立つ情報を集めております。お子様の持つ情報も加味して、十分にご検討下さい。

5 これからの過ごし方

まず第1に、感染症予防の新しい生活様式を徹底していただきたいと思います。学校は集団生活の場ですので、ちょっとした油断が大きな感染拡大につながりかねません。ご家庭でも十分な配慮とご指導をお願い致します。

次に、進路情報の収集をお願いします。オープンキャンパスが中止されている昨今、大学情報が得にくくなっています。しかし、大学のホームページや受験情報産業の提供するサイトでは、大学に関する情報が随時更新され、最新の情報が提供される準備が整えられてきています。

また、本校においても、国立大学の合同進学説明会を開催(11/6)したり、大学情報のパンフレットを提供するなど、情報収集の重要性を生徒達に説明しております。また、各自でパンフレットを取り寄せるための冊子等も提供しております。共通テストが始まり、少子化が進む最近の入試状況の変化は、本当に早くなっています。思い込みを脱し現代にあった選択ができるよう、情報収集にご配慮いただき、是非ともお子様と話し合う時間を持っていただきたいと思います。

最後になりますが、本校の目指す進路指導についてはこれまでの「進学 Now!」でも申し上げて参りました通り、「勉強も」大切ですが、「青春のひととき」も大切に、を基本としております。16歳から18歳の短い期間は、一生に一度きりの大切な青春の日々でもあります。進学準備を進めながらも、「今」を大切に充実した日々を過ごして欲しいと願っております。従って、多忙な毎日になって参りますが、それが石高生の模範的な生活でもあります。

体調管理もしながら、思い切り全力で走り抜き、充実した時間を過ごして欲しい。そして最後まで希望の進路を追い続けて欲しい。敢えて、「二兎を追う者」をめざし、やりきって欲しいと思います。その費やしたエネルギーが、将来に生きてくるはずです。

困難な道もありますが、先輩達も通った道です。石高生ならやり抜ける!!と信じ、心から応援して参ります。保護者の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

進路指導部